

# 北見武道通信

令和8年1月15日 00778号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



## ニュースレター【事務局情報】 武道教育の力 !!

1月10日（土）北見市武道館において北見市柔道協会の「鏡開き」が行われ、終了後にも「光柔会少年団」の子供たちが引き続き稽古を始めました。2時間の「鏡開き」に加え、計4時間の稽古で少し疲れ気味にも見えましたが、子供たちは終了後に行う清掃を怠りません。モップ掛けで集めたゴミや埃を掃除機で吸い取り、きれいに原状回復してくれます。私も手伝うつもりで掃除機をかけてみても子供たちのようにはうまくいきません。みかねたのか「ぼくやります」と交代してくれました。「うまいね～」というと、「まいにちやってるから」と手際よくゴミを吸い取ってくれました。この武道館では、武道を通して規律や協調性が涵養され子供たちに身についていると改めて感じました。（佐藤）

北見市武道館の冬景色屏風絵!? 2025年12月26日撮影

武道通信 孫子の兵法

『孫子の兵法』(守屋洋、三笠書房)より

7 百戦百勝は、善の善なるものにあらず

戦争のしかたというのは、敵国を傷めつけなで降伏させるのが上策である。



撃破して降伏させるのは次善の策にすぎない。また、敵の軍団にしても、傷めつけないで降伏させるのが上策であって、撃破して降伏させるのは次善の策だ。大隊、中隊、小隊についても、同様である。したがって、百回勝ったとしても、最善の策とはいえない。戦わないで敵を降伏させることこそが、最善の策なのである。 孫子曰く、およそ兵を用うるの法は、國を全うするを上となし、國を破るはこれに次ぐ。軍を全うするを上となし、軍を破るはこれに次ぐ。<sup>りょ</sup>旅を全うするを上となし、旅を破るはこれに次ぐ。卒を全うするを上となし、卒を破るはこれに次ぐ。<sup>さつ</sup>伍を全うするを上となし、伍を破るはこれに次ぐ。この故に、百戦百勝は善の善なるものにあらず。戦わずして人の兵を屈するは善の善なるものなり。 つづく